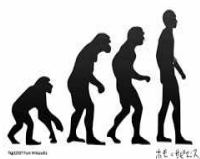




【テストは終了しましたが・・・人は学んでこそ成長する】



みなさんは「**ホモ・サピエンス**」を知っていますか？「ホモ・サピエンス」とは、今から約20万年前にアフリカで生まれ、気の遠くなるような時間をかけて世界中に広がり、我々の祖となった現生人類です。

「ホモ・サピエンス」の意味は「**考えるヒト=知恵のあるヒト**」ということです。「ホモ・サピエンス」がなぜ考え、知恵がつくようになったのかというと、はるか昔、アフリカから地球上に広がっていく過程で、生きる延びるために『考えること』が必要になったからです。どうすれば食糧を確保できるのか、外敵から身を守るためにはどうすればよいのか・・・そう考えた結果、必要な武器や道具が必要と感じて作ったり、火を使ったりするようになったのです。また一人では生きていけなくても仲間がいればより高い確率で生き残れるため、コミュニティを作り、コミュニケーションを図るために言葉を使うこともできるようになったのです。

これら、言葉や道具・火などは人類の知恵の象徴です。「どうしたらあの獲物を捕まえられるだろうか？」「どうすればこの寒さをしのげるだろうか？」「なぜ〇〇〇なのだろうか？」といった好奇心や疑問を持ったために使えるようになったのです。この疑問や好奇心はまさしく学ぶことの原点だと思います。みなさんも経験があるでしょう。自分から興味をもって質問した答えは心に残りますが、先生から一方的に教え込まれたことは心に残りません。自ら興味を持ち、考え、学ぶことによって学びは深まるのです。人は学んでこそ成長できるのだと思います。

テストが終了しました。テストが終わったからといって学びを止めないでください。間違えてしまったところをもう一度解き直してみてください。

昔中国の**孔子**という偉い人が言いました。「学びて時にこれを習う」。意味は、「勉強したことを折に触れて復習するということは、より一層理解を深める」ということです・・・。さあ好奇心・興味をもって学びて習いましょう！

【進路の話】

今年度の進路は、学習の遅れによる影響を気にしている保護者は多いと思います。

神奈川県教委より7月3日付で、今年度の履修内容から、県立及び横浜・川崎・横須賀市立の高校を対象に、入試の主題範囲を1～2割程度狭める旨通知がありました。各教科出題範囲から除かれる内容も示されています。

また私学では選考にあたり成績的な基準が設けられますが、3年だけでなく、2年生の成績も考慮する学校もあると聞いています。いずれにしても、進路通信等で様々な情報をお知らせしますが、子どもの進路を決定する大事な内容なので、県教委のHPをみるなど、学校からの情報だけでなく、お互いにアンテナを高く張っておく必要があると思います。

進路の決定は学校がするものではなく、最終的には本人・保護者の意見や思いを合わせる必要があります。双方が納得した形にしておかなければいけません。その過程において、決定の参考となるように進路希望調査や三者面談を設定しているのです。学校はあくまで、生徒の夢・進路実現のための手助けしかできません。決めるのは自分だし、試験を受けるのも自分。

しかし、そのために我々は全力を尽くしたいと思います。今後一人ひとりの目指すべき道について、学年会でその可能性を探っていくこととなります。大切な内容だけにミスは許されません。時には遅くまで会議をすることもあります。大変な作業になります。学校と家庭が信頼し合って目指す進路実現のためにがんばっていきたいと思います。提出物の厳守などご協力ください。



1年所属、英語科の渡辺友佳先生、同じく体育科の井澤祐貴先生に第1子が誕生しました。この状況下、親であってもすぐには抱っこできないと聞いています。どうかコロナに負けない強い子に育ててほしいと思います。

おめでとうございます!

教育目標
共に学び 共に喜び 共に誇れる
常葉中学校を築く

横須賀市立常葉中学校
〒238-0004 小川町18
☎ 825-7410